

## 1 パッケージのインストール

R では、関数やデータなどをひとつのまとまりにして、分野ごとにパッケージとして管理している。もし、最初にインストールしていない場合でも後から追加することができる。例えば、`arules` というパッケージを利用する場合には `library(arules)` と打てばよかった。

ここでは、そうしたパッケージのインストールの方法について述べる。ただし、この他に一覧からパッケージを読み込むには、メニューから「パッケージの読み込み」を選ぶとインストールされているパッケージのいちらんが別ウィンドウで立ち上がる。

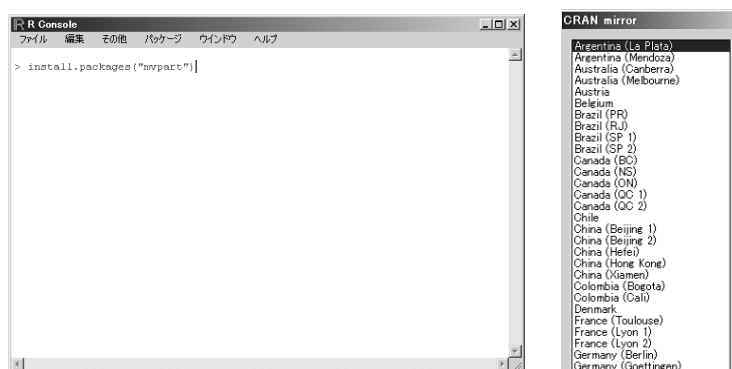


図 1: パッケージのインストール (1)

すると、右に示すように CRAN のどのサイトからダウンロードするかを聞かれるので、前節と同様、Japan(Tsukuba) を選ぶ。すると、必要なファイルを取得して、自動的にインストールしてくれる。このサイトはメニューの「CRAN ミラーサイトの設定」で変更することができる。

また、「パッケージ」のメニューからパッケージのインストールを選ぶと、CRAN のサイトを聞かれたあとにパッケージの一覧が表示される。ただ、パッケージ数が多いので名前等が分かっているときには直接打ったほうが速いだろう。ただし、パッケージを追加するときにはパッケージ名を 2 重引用符「`""`」で囲む必要がある。

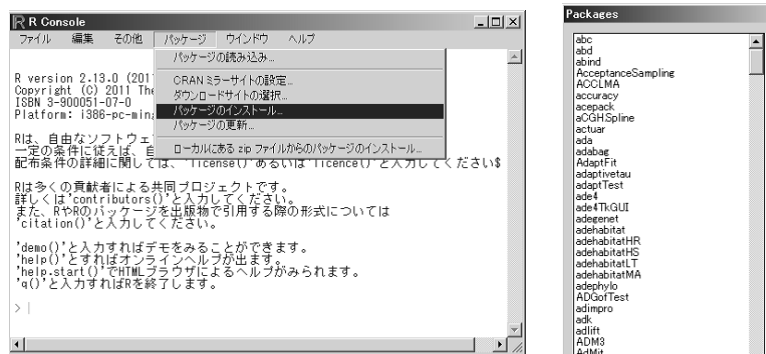


図 2: パッケージのインストール (2)

パッケージを読み込むときにもインストールのときと同様、「パッケージ」から「パッケージの読み込み」を選ぶと一覧からパッケージを選ぶことができる。もしインストールされている一覧から興味のある分野のパッケージがあったら、見て試してみると良い。

MacOS の場合、ツールバーの「パッケージインストーラ」からパッケージをインストールする。ファイルをダウンロードするためのサイトを聞いてくるので、Tsukuba などを選ぶと後はファイルをダウンロードしてインストールしてくれる。